

材料工学コース 学習・教育目標

- (A) 地球上の様々な異文化や価値観を理解し、人類の一員、そして材料技術者の一員として、地球環境の持続性との関わりについて継続的に学習し考える。
- (B) 新材料の開発と工業利用の意義について、自然や社会との関わり、地球環境への負荷について常に考え、材料技術者としての責任を自覚する。
- (C) 材料の開発・改良の指針となる原理を理解するため、材料の構造・性質の基本を理解し、そのために必要な自然科学の基礎知識と応用能力を身に付ける。
- (D) 素材の創製から製品の加工までの材料に関わるプロセスの基本を理解し、そのために必要な自然科学の基礎知識と応用能力を身に付ける。
- (E) 各種の材料を適材適所で利用するための設計・利用・評価の基本を理解し、さらに材料の循環的利用に関する基礎知識を身に付ける。
- (F) 限られた時間とグループの中で、実験・演習の目的を理解し、計画的に実行してデータを解析し、その結果を論理的にまとめて記述する能力を養う。
- (G) 材料技術に関する社会の要求を自ら見出して、自然科学や材料工学の基礎知識を応用して解決方法を企画・遂行する創造性と、その成果を論理的にまとめて発表し討議する能力を養う。
- (H) 国際的な情報メディアから必要な知識と情報を常に収集し、整理し、自己の発展に利用するための情報基礎技術を習得し、国際的な情報発信とコミュニケーションができる外国語の基礎能力を養う。
- (I) 日本における「ものづくり」の歴史、文化、産業の特徴を理解し、材料技術者としてグローバル化した産業構造に対応して国際的に活躍できる能力を養う。